



CHATERED IN
NOVEMBER 21, 1955

THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2022年1月

札幌クラブ

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

EF, PWA Legacy, JEF

— 主 題 —

国際会長 「世界とともにワイズメン」
アジア会長 「100年を越えて変革しよう」
東日本区理事 「私たちは次の世代のために何が出来るか？」
北海道部部长 「心を高めようパート2 ワイスダムの繋りを友情の輪に」
札幌クラブ会 「踏み出そう 次の一歩」

キム・サンチェ (韓国)
大野 勉 (神戸ポート)
大久保 知宏 (宇都宮)
中村 義春 (十勝)
柴田 伸俊 (札幌)

札幌クラブ役員
会 長 柴田 伸俊
副会長 伏木 康
書 記 伏木 康
会 計 秋葉 聡志
直前会長 宮崎 善昭

今月の言葉

「目に見えているものは、幻想。 見えないものこそ、現実。」
(山崎修選)

ブルキナファソにおける栄養改善への取組み アフリカ・ブルキナファソにて 小野 健



世界の5歳未満児のうち、栄養不良に陥っている子どもたちの数は、1億4,920万人が発育阻害（日常的に栄養を十分に取れずに慢性栄養不良に陥り、年齢相応の身長まで成長しない状態、世界の5歳未満児人口の22.0%）、4,540万人以上が消耗症（急性あるいは重度の栄養不足から生

じ、十分なカロリーを摂取できておらず、差し迫った死のリスクに直面している状態、世界の5歳未満児人口の6.7%）にあるといわれています。栄養不良の子どもは健康に育つことができただけでなく、感染症にかかりやすくなり、命さえ落とすことがあります。また、栄養不良がもたらす知能や身体の発達の遅れは、成長した後もずっと子どもたちの人生に大きなマイナスの影響を与え続けます。そのため、栄養分野への取組みは最も重要な開発課題の一つであり、持続可能な開発目標（SDGs）のゴール2では、2030年までにあらゆる形での栄養不良を解消することを目指しています。



左：蒸かしたベンガ豆に油と塩をかけて食べる。
上：油炊き込みご飯。乾燥魚のかけらだけ。
右：ピーナツソースのご飯。ほんの少しの野菜。
美味しいけれど栄養バランスが非常に悪い。
これを一日一食だけの家庭も多い。

から「農業を通じた栄養改善プロジェクト（PASNA）」というプロジェクトがスタートし、私はチームリーダーとしてこのプロジェクトの実施に携わって私が長年活動している西アフリカのブルキナファソでも、栄養不良は重要な問題となっており、昨年います。

ひとびとの栄養状態は、適切な食料の入手や栄養バランスの取れた食事、子供や女性へのケア、母乳育児や補完食（離乳食）、保健サービスへのアクセス、安全な水と衛生など、さまざまな要因に影響されます。このため、農業・食料、保健、教育、水・衛生などの様々な側面から分野横断的に取り組むことが必要です。

PASNA プロジェクトでもマルチセクトラルなアプローチを前面に出した活動を計画しています。農業普及と市場価値の高い作物を生産・販売することで農村部の家庭の収入を向上させる、栄養価の高い野菜などを自分たちで栽培・消費することで少しでも栄養のある食事を目指す、小学校での児童へなど様々な場所で様々な人たちに栄養改善の重要性を伝える啓発活動、手洗いやトイレの普及などなど、本当に多種多様な活動を色々な役所の人たちと協力の栄養教育や学校給食の改善、保健センターや公共施設して実施していかなければなりません。また、ブルキナファソでは治安が悪化しているために日本人のエキスパートは現場に赴いて活動することができません。COVID-19の脅威も引き続き存在しています。色々なハンディキャップを抱えながら非常にチャレンジングなこれから4年間のプロジェクトですが、少しでもブルキナの子供たちが健康に人生を送れるお手伝いができればと考えているところです。

2021年12月例会 在籍会員 9名 例会出席 7名 メネット 0名 メーキアツプ 0名
出席報告 ゲスト 1名 ビジター 4名 出席者合計 12名 出席率 78%

札幌ワイズメンズクラブ 札幌北ワイズメンズクラブ 新年合同例会

日時：2022年1月18日（火）18:30～20:30

会場：北海道 YMCA 101 教室（+リモート）

会費：1,000円（弁当持ち帰り）

プログラム

司会 札幌クラブ副会長 伏木 康

- ① 開会点鐘 札幌北クラブ会長 小谷 和雄
- ② ワイズソング、ワイズの信条 全員
- ③ 今月の言葉 & なぜこの言葉を 山崎 修
- ④ 開会あいさつ 札幌北クラブ会長 小谷 和雄
- ⑤ 参加者自己紹介

卓話者： 森下 昌市郎様

新入会員： 山崎修（札幌クラブ）

ゲスト & ビジター： 他区、他部、
北海道部、札幌北クラブ、札幌クラブ

⑥ 誕生日

札幌北クラブ 佐藤 貴子 1月20日

札幌クラブ 伏木恵美子 1月5日

⑦ 結婚記念日

札幌クラブ 山崎修・樹子夫妻

12月24日

⑧ 卓話者紹介 司会者

⑨ 卓話

「若き日の濫澤栄一」

森下 昌市郎様

⑩ 諸報告

⑪ YMCA報告 札幌北クラブ

札幌クラブ 北川佳治

⑫ 今月の歌

「スキーの歌」（山は白銀～）（中田靖泰選）

⑬ 閉会挨拶・点鐘

札幌クラブ会長 柴田 伸俊

何故この言葉を！ 山崎 修

コロナ共生時代になり、これまでの常識が変わりゆく時代です。目に見える常識だけを信じ続ければ時代の変化についていけないことが明らかになりました。

スキーでも難斜面を滑る技術はあっても、目で見ること怖気づき、見える幻想に惑わされることが良くあります。未来への想像力が生き抜くために大切な時代となっているのでこの言葉を選びさせていただきます。

札幌ワイズメンズクラブ 12月事務会記録

日時：2021年12月20日（月）18:30～20:00

出席：伏木・宮崎・中田・秋葉・柴田・北川
（リモート出席）大久保知宏（東日本区理事）
（北海道部）中村部長、山下部書記
（札幌北クラブ）小谷会長

クリスマスは12月ということで、札幌手稲教会の原牧師をお招きし、キリスト誕生の羊飼いに
ついてのお話をいただいた。続いて待望の入会
式は大久保理事によるリモートでの司式で始ま
る。後半は中村部長からのバッジ着装とワイズグ
ッズの贈呈で無事入会式が終了した。

幾つかの連絡事項の後、明日（12月21日）に
控えたキタラコンサートの最終打合せで、例会は
終了した。（柴田記）



写真下：
前列左から、小谷、中村、
柴田、山崎、中田
後列左から、北川、宮崎、
山下、伏木、秋葉
正面壁に大久保理事

写真上
バッジ着。装
左、山崎修氏
右、中村部長



札幌ワイズメンズクラブ 12月事務会

日時：2021年12月28日（月）19:00～20:00

出席：柴田（長）・秋葉・小野・伏木・山崎

1. コンサート関連：

補助金清算の手続きを安田、秋葉で進行中。

2. 1月合同例会：

日時：1月18日（火）18:30～20:30

場所：YMCA101号室対面&リモート

食事：会費/1,000円 弁当持帰 飲み物用意

卓話者：森下昌市郎氏

テーマ：「若き日の濫澤栄一」

卓話終了後、チャリティラン協賛グッズのオー
クションを実施。売り上げをYMCAへ募金。

（準備—秋葉、進行—伏木）

3. 1月事務会：

1月25日（火）19:00～21:00(meet)

2月例会、絵\3月例会について

秋葉欠席の為、ホストは北川。

4. YMCAリーダーOB・OG動向

伏木メンより情報を共有。キャンプ協会会長の
粥川さんを卓話に招くなどするとOBを動員出来
るかもしれないとのこと。粥川氏はYMCA 評議
員。元北翔大学教授で木田さんのゼミの教授。ど
のルートで依頼するかは秋葉、北川、木田で慎重
に検討する。（秋葉記。一部編集）

YMCA ニュース 担当主事 北川 佳治

冬休み短期集中プログラム終了報告

コロナ禍の中、子ども達の体験活動も、まだまだ従来通りにはなっていませんが、YMCA では各種対策を講じつつ、年末より冬休み短期教室を開催し、1月18日のスキースクールを最後に、予定全プログラムが終了しました。

館内プログラムには660名程、スキーには280名程、総勢900名を超える子ども達がYMCAプログラムに参加しました。

様々な体験活動を通して、新しいお友達ができたり、学びを得たり、楽しい思い出を作ったり、とそれぞれが貴重な経験の場とすることができました。

2022年もYMCAに関わる全ての皆様や地域にポジティブネットを拡げられるよう、スタッフ一同邁進してまいります。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



安田文子会員 ショパン・コンサート復活

12月21日(火)、2年間この日を待ちわびていた観客の出足は雪がちらつく中でも順調でした。札幌ワイズメンズクラブは全会員の他、秋葉、柴田、宮崎メネットのほか、山崎コメットも加わり、受付、案内、レコード販売、さらにはYMCAのベトナムグッズの販売などに総力を挙げて取り組みました。

大忙しの中でやがて開演。在仏30年のチェロの名手と、ポーランド、ロシア仕込みのショパンの息もぴったり。15分の休憩を挟んでの2時間余の演奏もあっという間でした。カーテンコールも幾度も幾度も鳴りやまず、演奏者お二人もそれに応えて、予定を20分も超過しての終演でした。観客には、イブを前に何よりのクリスマスプレゼントでした。

「ご苦労さん会」はコロナ下ということもあり、人数限定の個室でこじんまりと行いました。津留崎氏は緊張の演奏後ということもあり快調に話が弾み、日本とフランスの違いや食生活、気候と住み易さはどっち等々、会員からは新庄ビッグボス、ファイターズ、与那嶺などかなり時代をさかのぼった野球の話も続く。蛍の光を聞きながら、中村部長の締めめの挨拶であったという間の1時間半が終了しました。

参加者： 秋葉、秋葉メネ、柴田、柴田メネ、
中田、伏木、山崎、宮崎、宮崎メネ
YMCA： 渋田、佐藤、
十勝クラブ： 中村、山下

ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。